

第 46 回福岡県体育指導委員研修大会

第 46 回福岡県体育指導委員（以下「県体指」）研修大会が、平成 22 年 12 月 12 日（日）久留米市民会館で約 850 名の参加を得て開催されました。



開会の言葉を大久保研修大会実行委員長が行い、主催者を代表して折居県体指協議会会長があいさつ致しました。



感謝状の贈呈式では、県体指 56 名が受賞しました。一人毎の表彰で、客席からは表彰地区からさかんに激励の声が飛んでいました。



特別講演では、元プロボクサーの坂本博之氏が「僕は運命を信じない」という演題で講演されました。

公演内容は、坂本氏の今まで歩んできた 人生のふりかえりです。親の離婚から始まる悲惨な少年時代の話しになると客席の各所から嗚咽が漏れていました。

児童養護施設でボクシングと出会い、プロボクサーとなって施設と交流が始まり、その児童達から愛情と勇気をもらって自分自身が変わってきたそうです。

世界チャンピオンになれなかったこと、二人の子供との別れ等の辛い思い出の下りでは客席からはしわぶき一つなく皆聴き入っていました。最後に「運命は自分自身の中にある」という言葉で熱い公演を締めくくられました。



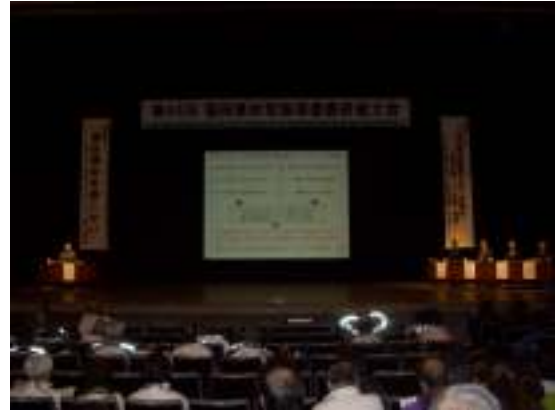
午後一番は、アジャタ（スポーツ玉入れ）交流大会です。

ユニークな司会者のもと、福岡県内から 8 地区が代表してタイムレースを競いました。

直径 6m のサークルの中心に高さ 4m のバスケットをおきます。サークルの外周に後ろ向きに並んで、ホイッスルでスタートします。

1 チーム 6 人で 100 個のボール（内 1 個はアンカーボールといい最後に入れる）をバスケットに入れる競技です。

全部入れるまでの所要時間は 1 分半程度です。



シンポジウムのテーマは、「あなたの地域の課題をみんなで共有・解決しよう」です。県内の 4 地区の若手体指がパネラーとなり、①スポーツ振興計画の策定状況について②生活上の問題点を「人々の生活や暮らしを豊かにする文化」としてスポーツ振興によって解決できないか？③地域コミュニティとしての学校施設について④スキャモンの成長発達曲線について⑤行政や体指が企画するスポーツ教室やスポーツ大会・行事への参加状況について⑥総合型地域スポーツクラブの必要性についての 6 議題に、活発な論議が交わされました。最後に、コーディネーターの中西純司福岡教育大学教授が、地域内の人々で行うことによりスポーツの仕組みを変えていくことが可能な総合型地域スポーツクラブへの期待を込めて締めくくられました。

次回の開催地は、福岡市の予定です。